

楽譜の読み方

～音符の行間を読むヒント～



執筆：有吉尚子
聴く耳育成メソッド主宰講師/クラリネット奏者

演奏家が見ているもの

「あなたは楽譜を読むことは得意ですか？」
そう尋ねられたときに譜読みとしてどんな作業をイメージするでしょうか。

書いてある音符がドかしかミか、わかること？
初見がすぐにできるかどうか？
移調楽器の譜面が読めること？
確かにどれも大切なことかもしれません。

でも譜読みがそれだけだとしたら、古今東西の演奏家が何度もコンサートで演奏した曲を取り上げるたびに毎回新しく譜読みをし直すのはなぜなのでしょう。

楽譜にはたくさんの情報が詰まっています。
「年齢を重ねるごとに、演奏を重ねるごとに見えるものが増える」
という彼らは一体何を見ているのでしょうか。



楽譜に書いてあること

合奏やアンサンブルなど誰かと合わせる前に楽譜を予習すること、それをわたしたちは譜読みと呼んでいます。



テンポ、音量、表情記号、アーティキュレーションを確認しつつ、書いてある音符をドレミ…と追っていくようなことは、この冊子を手にしたあなたはすでに当たり前にやっていらっしゃることでしょう。

楽譜にはその他にもたくさんの情報が詰まっています。



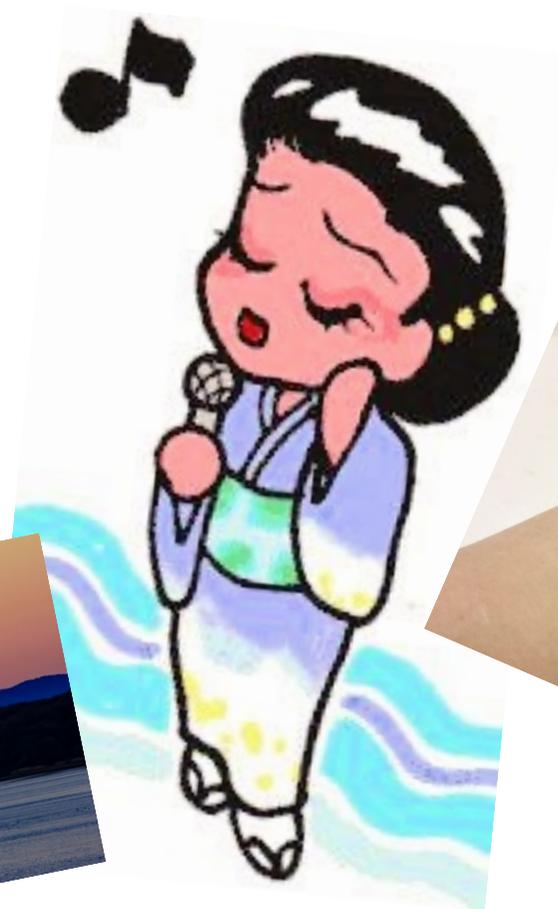
全体の構造、和音、ストーリー展開、それぞれの楽器の役割、
そういう音符単体ではわからないけれど、
いくつかの音符を“まとめり”として見たときにわかることは多いのです。

音符のまとめり

音符をまとめりとして見る、
言葉を例にするとわかりやすいかもしれません。

「フ」「ジ」「サ」「ン」「ガ」「ハ」「レ」「タ」
どういう意味でしょうか。

富士山が晴れた
藤さんが貼れた
不持参が腫れた



文字のひとつひとつだけでは山のお天気の話か、演歌歌手のポスターの話か、
湿布を持たずに旅行に行った人の足の話かわかりません。
まあ、湿布の話というのはムリがありますが(笑)



例えば山のお天気の話だとわかってても、水不足の夏の出来事か、
やっと明けた梅雨の話か、噴火した後の救助活動の話かによって全く意味が違って来ます。
そうやっていくつかの文字が合わさって意味を持ち、それがさらに合わさって物語が作られます。
そういうまとまりが音符にもあるのです。

ではどうやったらそのまとまりを見つけられるのでしょうか。実際の楽譜を使って見てみましょう。
ハッピーバースデーの歌、誰でも一度は歌ったことがあると思います。

まずは旋律フレーズの切れ目を探してみましょう。

大抵、ブレスをそこで行うとしっくり来る場所がフレーズの切れ目です。

(赤のスラー印とブレスマーク)



フレーズは横に見たまとまりと言えます。

小さなまとまりの意味



そしてその中にもっと小さなまとまりもあり、
動機とかモチーフなどと言われます。

文章なら文字をいくつか合わせた**言葉**にあたるまとまりです。

段落や章ほど大きくはなく、各文字ごとでもない小さなサイズのまとまりが四つあります。

この小さなモチーフ、よく見てみると①と②が似ていませんか？

「ハッピーバースデートゥーユー」と二回繰り返して歌う部分です。

一回では物足りないからお祝いの気持ちを強調したくて二回も言うのでしょうか。

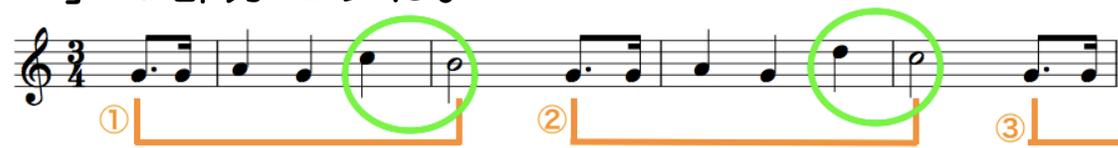
この似ている①と②には**違う部分**もあって、
それが盛り上がるの変化を作っているのです。



ほんの少しの変化が表すこと

①と②の少しだけ違うこと、

それはハッピーバースデートゥーユーの「トゥーユー」の部分ですね。



①のド-シに対して②ではレ-ドになっています。



音が高い方が盛り上がった感じがしますから、

ほとんど同じような音形ではありますが二回目は一回目よりもテンション高く歌いたいところ。

それが反対に二回目の方が静かになってしまったらどんな感じがするでしょう？

あれれ？どうしたのかな？プレゼントを用意し忘れたのかな？

という雰囲気になってしまうでしょう。





大きくするかどうかというほどではない程度の
ほんの少しの違いですが、
何も考えず棒読みでまっすぐに演奏する場合と
「一回目より二回目が盛り上がってるな」
と思いながら演奏する場合とでは
躍動感も説得力も全然違ってくるものです。

この躍動感を作っている要素として、
音が高くなっていることの他にもう一つの仕掛けがあります。

今見た二つの音の直前にヒントがあるのです。

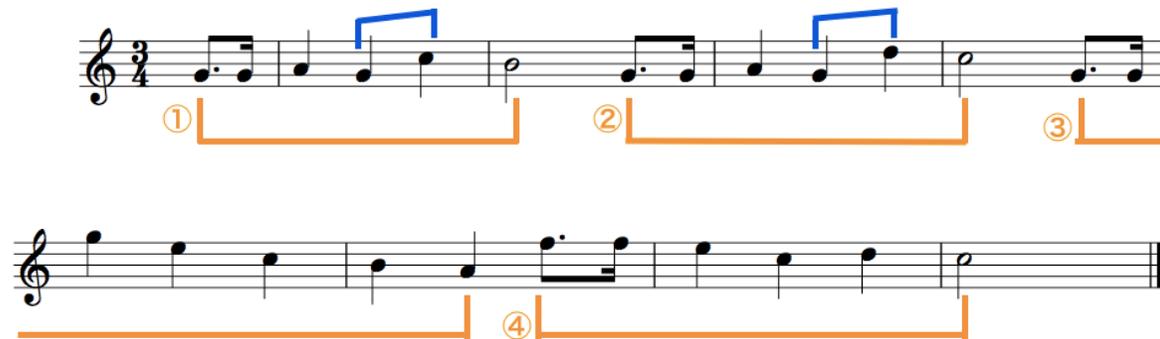


躍動感を作る仕掛け

①のド-シと②のレ-ドの直前の音は、
どちらも同じ「ソ」になっています。

①のソとドの音程の間隔は4度。（青カッコ）

②のソとレの音程の間隔は5度。（二つ目の青カッコ）



離れた音程へ移動するのは近いところへ行くよりも上へでも下へでも
エネルギーの動きがよりたくさん必要になります。

低い跳び箱は少しの助走でいいけれど、
高い跳び箱を飛ぶにはたくさんの助走が必要になるのと同じ、
音楽は物理の法則とも関係が深いのです。

より遠くへ行く方がエイヤッと思いきりよく飛ばなければ到達できないのです。

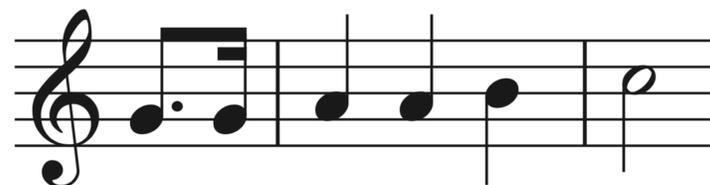
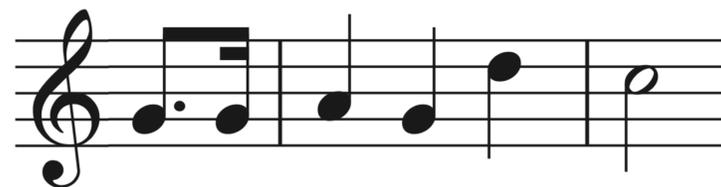
ここでは①よりも②の方が遠くへ高い音へ行ってるのでエネルギーがより必要です。

音を出してみましよう

楽器の操作面でも、より様々なコントロールが必要なのは近くの音へ行くときより遠くへ行くとき。奏法に変化が大きい方が色々と気を使って吹いているはずですよ。

例えばこれが②がソーソラソレドではなく、跳躍のないソーソララシドだと、あまりワクワクしませんよね。

揺らいた動きがあるからこそ、心を揺さぶることができるのです。



「本当かな？」と思ったらスマホの無料アプリなど、音の出るもので試しに弾いてみてどんな感じがするか聴いてみましょう。

ソーソララシドだと意外なほどのっぺりしていることがわかることでしょう。

音符の文脈

ここまでは細かい部分を見てきたので、
今度は横の流れのまとまりを大きく見てみましょう。

①②③④それぞれ見てみると①と②は似ていましたね。
それに対して③は大分違う形になっています。

文章で言うと**起承転結の転にあたる部分**です。

歌詞では「ハッピーバースデートゥーユー、
ハッピーバースデートゥーユー」の後の
「Dear〇〇さん」と名前を入れる部分です。

ソ-ソというオクターブの跳躍があるので、全体の中で最もエネルギーの動きを感じられる部分です。



そして④はもう一度「ハッピーバースデートゥーユー」という、
①②と似た音形をもう一度持ち出してきて締めくくっています。

例えばこの④が③をさらに変化させた華やかな音形だと
「新しい事件があってさらにその先にね…」
と曲(お話)が続いてしまいそうだし、
最後の段落を始めに提示した音形と似せることで
統一感を持たせて締めくくりに行っているのです。



子どもでも歌える単純な曲ですが、
「①ああで、②こうで、③それがこうなって、④結局こうだったの」
というストーリーがはっきり見えてくるとおもしろいものですね！

作曲家からのお手紙

この起承転結の構造はソナタ形式と呼ばれるものと同じ作り方です。

今回は単旋律として見ましたが、モーツァルトやベートーベンなど古典様式の大家のオーケストラ作品にもこの構造が見られます。



こんな風に見てみると楽譜は異次元の謎に包まれた特殊な言語ではなく、わたしたちが日常で使っている言葉の表現とそう変わらないことがわかります。

手の届かない天才作曲家が後世の異国である現代日本人にもちゃんと通じるようにお手紙を書いてくれたなんてものすごいことで、何だかワクワクしてきませんか？



縦の音のまとめり

縦の音のまとめりとしては和音の他に楽器の組み合わせ、リズムの絡み方などありますが、ここではシンプルに考えるため和音のことのみ取り扱います。

和音は響きの色合いの違いを作る要素ですが、さきほどの起承転結を和音でも表現できるのです。

その一番わかりやすい例は、学校の音楽の授業でお辞儀をさせられたピアノのフレーズです。
一つ目のジャンで気を付け！二つ目のジャンでお辞儀！三つ目のジャンでなおいれ！

https://youtu.be/td_rYQSiFKQ

これは和音によって身体をそういう風に動かされている面もあるのです。



どうやって音でお辞儀をさせるのか

ということかという、
お辞儀の和音はこんな風に来ているのです。

一つ目、ドミソ。
(**落ち着きの和音**。おうちにいるようにホッとする。)

二つ目、シレソ。
(**動きの和音**。外に出た人がおうちに帰ろうとソワソワしている。
気分は盛り上がっている。)

三つ目、ドミソ。
(**最初と同じ落ち着き和音**。さっきはソワソワしていたけれど
おうちへ着いてホッとしている。)



どうですか？

まず騒いでる子供たちが落ち着きの和音で落ち着かされ、
動きの和音でお辞儀をさせられて元に戻りたくてソワソワしてるところに
三つ目の戻って良し！という和音が鳴るわけです。

誰でも外に出て疲れたら家に帰りたくなるでしょう。

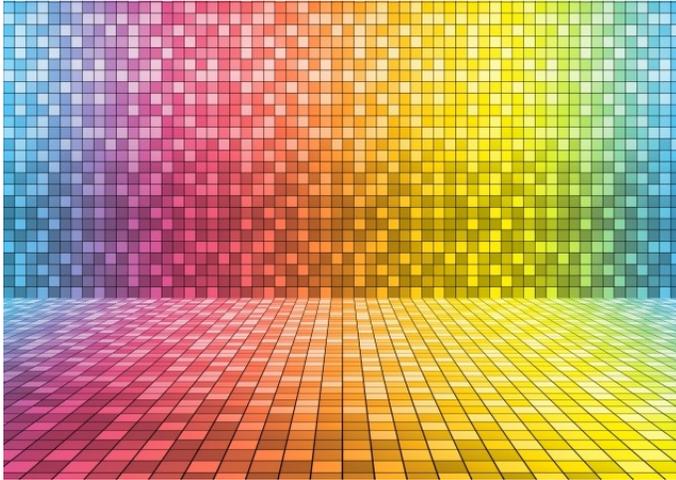
外に出てる間はよそゆきなので
テンションも上がっています。

そして家に帰ったらホッとしますよね。

それは大人も子供も音楽も同じです。



和音の種類



では和音は「ハイテンション」と「落ち着き」だけでしょうか？
もちろんそんなことはありません。
その間に無数のグラデーションがあります。

大きく分けると三つに分類できます。

- A 元気いっぱいハイテンション(ドミナント)
- B 色気を出してちょっと盛り上がり(サブドミナント)
- C お家で落ち着いている(トニック)

その間のグラデーションとして例えばこんなものがあります。

- ・ 元気いっぱいじゃないけど大人なおしゃれテンションで盛り上がっている (A+B)
- ・ 色気をお家に持って帰ってしまって今ひとつ落ち着かない (B+C)
- ・ 一応座ってはいるけれどワクワクして今にも踊り出しそう (A+C)

感じた事を演奏に活かすとは

例えば、おしゃれなシャンパンを持ち帰って家でパーティの続きをするような雰囲気のと音なのに、旋律のパートだけが

「やれやれどっこらしよ、おらの家はやっぱ落ち着くな！おまえもイモ食うか？」
という音で開けっ広げに帰宅してしまったらどうでしょう？

とんちんかんだし音楽がぶち壊しですよ。ね。
そういうときは少し気取って、
または遠慮して演奏してほしいものです（笑）



そんな風に表情を付けるときの指針になるものが和音の構成（和声）というもの。
一つ一つの和音に様々な表情があって、
「次の和音はどういう表情かな？さらに次は？」と丁寧に紡いで行くことで
ストーリーが生まれます。

和音から読み取るストーリー

例えば和音進行がこんな風になってる場合にどう演奏をしたいでしょうか。

おうちから（トニック）→おめかしして外に出てみる（サブドミナント）

→パーティーで盛り上がって楽しむ（ドミナント）→おうちへ帰ってホッとする（トニック）

こういうストーリーなら旋律を吹いている人が、
盛り上がったパーティーの場面より
帰ってきた後のおうちでのテンションの方が高かったら、
いわゆる空気読めないヤツということになってしまうでしょう。



前後関係から「こういうニュアンスにしてね」ということが和音で表現されているのです。

表現のビジョン

ここまで色々と書きましたが、分析が正確にできるかどうかは魅力ある演奏には実はあまり関係がありません。

音を出した時に自分だけでなく全体を聴いて、
何となくそれがどういう色合い・ニュアンスなのか、
前後関係からどういう場面なのかということをイメージできたら充分演奏に活かせます。

何を作りたいかわかってない人には何も作れませんが、
曲の雰囲気やイメージ出来るあなたは作りたい音楽がどんなものかわかっているのですから。

イメージさえできたら理屈はわからなくても後はそれをどう実現するかの手探を探すだけ。
しっくり来る音が見つかるまで探せば良いのです。





この冊子でご紹介したような
楽譜の色々なポイントに注目しながら
聴こえてくる小さなニュアンスや些細な変化に
いつも敏感でいられたら、
これからも年齢を重ねて
どんどん見えるものは増えていくでしょう。

子供のときに良さのわからなかった食べ物が
大人になって味覚が繊細になりだんだん好きになっていくように。

自分の感覚も、楽譜から読み取れることも、日々刻々と変化していくことが楽しみですね！
日々の練習のヒントにしていただけたら嬉しいです。

最後までお読みいただきありがとうございました。
今後のあなたの音楽ライフを応援しております！



教室紹介：【聴く耳育成メソッド3つの柱】



ただ音符を並べるだけの無表情でつまらない棒吹きから脱出して
歌心ある表現をするための楽譜読み解き法「**楽典&アナリーゼ**」

ケガや痛み、過度な緊張やストレスなど心身に無理のない奏法を選び、
自分に合った奏法を選ぶために心と身体の仕組みとコントロールを学ぶ
「**アレクサンダーテクニーク**」(ボディユース)

ニュアンスや音色の違いなど微細な変化を聴き取り、
アンサンブルとして反応するための耳のトレーニングである「**ソルフェージュ**」

ストレスフリーで快適な演奏を支える土台であるこの基礎スキル3科目を
全ての講座やレッスンに取り入れています。

提供サービス一覧

【聴く耳育成ベーシック講座】（1年コース/オンライン）

カリキュラムの決まった授業形式で進みます。演奏の基礎スキル3科目を一年かけて網羅します。

【聴く耳育成メソッド専門コース】（1年ごとの更新制/対面）

聴く耳育成メソッドの内容を実践し、また教えられる講師を育成するコースです。

演奏・指導の両面からスキルアップし音楽を仕事にできる人材を育成します。

【個人レッスン】（対面/オンライン）

完全非公開でのプライベートレッスンです。



聴く耳育成

ベーシック講座



【1年コース/オンライン】

スタンダードコース 571,000円 (税込み)

<https://open-eared.com/basic/>

- ・楽譜からストーリーを読み解く譜読み法
「楽典&アナリーゼ」

- ・痛みやストレスのない奏法を選び、自分に合った練習をするための心と身体のコントロールを学ぶ
「アレクサンダー・テクニク」

- ・ニュアンスなど微細な変化を聴き取り
反応できるようになるための耳の使い方を知る
「ソルフェージュ」

演奏の基礎スキルである上記3科目を
一年かけて体系的に学ぶコースです。

【登壇講師】 有吉尚子/クラリネット 垣内佑規/ホルン
手塚由美/ホルン 牧野詩織/フルート 村瀬正巳/オーボエ



聴く耳育成[®]メソッド

Solfège, Analyze, Rhythmic, musical grammar, Alexander Technique

専門コース

【1年ごとの更新制／対面】

https://open-eared.com/course/pro_course/

費用 415,000円（税込み）／年

1回4時間／年間12回の個人レッスン

（音大卒業者で標準3年間がカリキュラム完了の目安です）

専門的に演奏またレッスンを学んでキャリアアップしたい方のためのコースです。

楽典教授法、リトミック、聴音、アナリーゼ、リズム表現、視唱、アレクサンダーテクニークに基づいた心と身体の仕組みに沿った使い方（ボディユース）を学ぶことで演奏の質を向上させ、また音楽講師としてレッスンを開講できる指導力を身につけます。

専門スキルを深化させるための内容になっておりますが、一般の方もご希望があれば受講可能です。

【担当講師】有吉尚子/クラリネット



個人レッスン

【定期/単発/体験】（対面/オンライン）

定期レッスン(60分)/11,460円(税込み)/1回
単発レッスン(90分)/17,200円(税込み)/1回
体験レッスン(30分)/5,800円(税込み)

https://open-eared.com/private_lesson/

- ・ソルフェージュ、アナリーゼ、音楽理論
- ・アレクサンダー・テクニーク
- ・各楽器の奏法レッスン

など内容は組み合わせリクエスト共に可能。

「グループではなく自分自身の課題に集中したい」
「ピンポイントで解決したい問題がある」

という方のための完全プライベートレッスンです。

【担当講師】 伊藤緑/サクソフォン 垣内佑規/ホルン
手塚由美/ホルン 村瀬正巳/オーボエ

（有吉尚子の個人レッスンは専門コースのみ受付中です）

受講者さんの声

*年代肩書き等は受講当時



白黒の世界が一気にカラーになりました！
楽団で何となく教わっていた(指示されていた)事(クルシスとかドミナントとか)が、なぜそうなるのか詳しくわかって、楽譜を見てぼんやりしていた事が明確に見えてきて、演奏するのが楽しくなりました。金額も決して安くはないですし、なかなか1歩が踏み出せなかったですが、金額以上の事を学べると思います。誰かの後押しが必要な方、迷っているなら飛び込んでみると世界が変わります！

(関東 会社員 クラ吹きさん 40代 楽器：クラリネット 受講クラス：ベーシック講座)

音符をおって楽器で吹くという表面的な事は出来ていたけど、楽譜をもっと深く理解して自分が確信を持って演奏できる自分の内面的な所を教えてもらったと思います。また、自分が思っている事が身体に影響を及ぼしている事、何が自分に起こっているのかを冷静に判断する事、漠然と出来ない、自分は駄目だと思うのではなく、どうしてできないと思うのかを分析していくなど、思考のあり方を教えてもらいました。これは音楽だけでなく、生きていく上でも役に立つ事だと思います。講座を終えて、これからの私の音楽生活はとても充実したものになると思います。講座を受ける前と受けた後の自分の変化を楽しんでください！



(徳島県 みなさん 40代 楽器：クラリネット 受講クラス：ベーシック講座)



机に座って、ホワイトボードを書き写す講座ではなくて、道具や身体を使って、聴いたり、歌ったり、演奏したり、と楽しく飽きない内容で、それでいて、学んでほしい意図が伝わる内容でした。

(埼玉県 40代 看護師 I.Sさん クラリネット 受講クラス：ベーシック講座)

指揮者が調や和音の構成の話をしてても、そこからどう演奏に繋げるのかがわからなくて、言われた通りにやろうとしても意図や方向性がわからないままなので自分でも違和感のある演奏になり(機械的になってしまったり)、音楽を楽しめなくなっていました。実際に音楽を聴いたりピアノに合わせて歌ったりと言葉だけでなく体感できたのも理解の助けとなりました。印象にも残りやすいです。知れば知るほど、指揮者や周りのうまい人たちは楽譜からこんなにもたくさんの情報を読み取っているのか！と衝撃でした。

(東京 事務職 MMさん 30代 楽器：ホルン 受講クラス：ベーシック講座)



楽典を教えてもらったことで楽譜の意味をよく掴めるようになり、オケの指揮者の先生が仰ることの意味も分かるようになりました。ソルフェージュを体験したことで音への感覚を研ぎ澄ませるようになりました。有吉先生は物腰やわらかで優しく丁寧です。が、中身はガチだし(笑!)内容は厳しさもあります。先生が本気で伝えようとしてくれる講座です。がんばってください!

(日野市 会社員 ゆきえもんさん 50代 楽器：チェロ 受講クラス：ベーシック講座、個人レッスン)

私の求めるレッスン内容を提供くださる先生を探しに探してようやく見つけ出した先生です。その期待を裏切ることは、ありませんでした。メルマガ等を読んで感じるイメージと実際にお会いして感じるイメージのギャップに失望することが時折あるのですが、有吉先生は頂いているメルマガなどでの文章表現から、想像できるとおりの素晴らしい方本物のプロ。やはり良い先生との出会いは大切だと思います。この貴重な出会いを逃す手はないかとおもいます。

(神奈川県 会社員 峰伸さん 50代 楽器：サクソフォーン 受講クラス：個人レッスン)



今までのどうにも上手くいかなかったことや、失敗した時のことなど、身体の使い方や思考が原因だったのかも!と衝撃の連続でした。思い切って受講して、ほんとうによかったです! 大の苦手だったハイトーンが、今までに出せたことがないような音色で出せたことが印象的でした。自分でも驚きましたし、少し自信が持てました。今までに楽器のレッスンを受けていても、どうも上手くいかず、原因がわかりかねている方、楽器の奏法というよりも身体自体の使い方や思考の面での違和感や限界を感じている方にオススメです。

(東京都 レッスン講師 宮下智美さん 20代 楽器：ホルン 受講クラス：個人レッスン、専門コース)

スケールやメロディは和声の移り変わりを気にするだけで方向性が明確になり、吹き方も変わることを体感できました。合奏などで指揮者がこの音を大事にしてとか保つてと言う理由が理解できました。スロート付近のアルペジオで、身体の構造を意識した動きを心掛けることで運指が劇的によくなったことが印象的でした。今までの悩みは何だったんだろうという感じでした。

(川崎市 会社員 Y.Aさん 40代 楽器：クラリネット 受講クラス：体験講座)



主宰講師／有吉尚子



1982年栃木県日光市（旧今市市）生まれ。小学校吹奏楽部にてクラリネットに出会い、高校卒業後19才までアマチュアとして活動する。20才のときに在学していた東京家政大学を中退し音大受験を決意。2003年洗足学園音楽大学入学。在学中から演奏活動を開始。

オーケストラや吹奏楽の他、CDレコーディング、イベント演奏、テレビドラマBGM、ゲームのサウンドトラック収録など活動の幅を広げ2009年に洗足学園音楽大学大学院を修了。受講料全額助成を受けロシア国立モスクワ音楽院マスタークラスを修了。

及川音楽事務所第21回新人オーディション合格の他、コンクール・オーディション等受賞歴多数。

NHK「歌謡コンサート」、TBSテレビドラマ「オレンジデイズ」、ゲーム「La Corda d'Oro（金色のコルダ）」ほか出演・収録多数。

これまでに出演は1000件以上、レパートリーは500曲以上にのぼる。

演奏やレッスン活動をするうちに基礎を学んでいないためにコンプレックスを抱え悩んでいる奏者がとても多いことに気付き、プロ志望でなくても本格的に演奏を学べる場所の必要性を痛感。

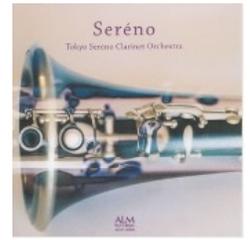
自身が音楽大学・大学院の修了後に改めてソルフェージュや音楽理論、アレクサンダーテクニークを学び、演奏技術だけでなく作品の解釈や練習の組み立て方、本番に向かうメンタル面のコントロールなど実際の演奏に結びつけながら総合的に身につけることの大切さを実感したことを活かし「聴く耳育成®メソッド」を立ち上げる。

レッスンや講座は【熱意あるアマチュア奏者に専門知識を学ぶ場を提供する！】というコンセプトで行っており、「楽典は読んだことがない」「ソルフェージュって言葉を初めて聞いた」というアマチュア奏者でもゼロから楽しく学べ、確かな耳と演奏力を身につけられると好評を博している。

これまでに延べ1000名以上が受講。発行する楽器練習法メルマガ読者は累計5000名以上。

現在、クラリネット演奏やレッスン活動の他、「ザ・クラリネット」（アルソ出版）、吹奏楽・管打楽器に関するニュース・情報サイト「Wind Band Press」などでの執筆やコンクール審査なども行っている。

BODYCHANCE認定アレクサンダーテクニーク教師。日本ソルフェージュ研究協議会会員。聴く耳育成協会代表理事。音楽教室N music salon 主宰。



連絡先／アクセス

聴く耳育成協会（運営:音楽教室N music salon）

【メール】 info@open-eared.com

【電話/FAX】 03-6383-2399

【教室住所】 東京都杉並区高円寺南2-37-14
クレシェンド高円寺403

JR中央線・総武線、東京メトロ東西線 高円寺駅 南口下車徒歩8分
東京メトロ丸ノ内線 東高円寺駅 徒歩8分

【ホームページ】 <https://open-eared.com/>



スキマ時間で上達する！
管楽器プレイヤーのための
練習テクニック

【無料メール講座好評配信中】

https://open-eared.com/mail_course/

発行元・著作権について

2025年2月7日発行

著者 有吉尚子

発行元 聴く耳育成®協会

<https://open-eared.com/>

本冊子の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信すること、あるいはウェブサイトへの転載等を禁止します。

本冊子の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。

本冊子を第三者に譲渡すること（プリントアウトしての配布を含む）は有償無償に関わらずできません。